



東(に)風(ち)



HPへの
QRコード

旭川市立神居東中学校
令和4年度学校だより

No.6

令和4年10月3日(月)発行
発行責任者 主幹教諭:阿部広嗣

〒070-8014 旭川市神居4条19丁目 Tel:0166-61-8298

『前期終了～後期に向けて』

校長 神林 宏行

9月26日に生徒会役員選挙があり、後期の新体制が決定しました。当日の立会演説会で語られた立候補者の決意は、いずれも学校生活をよりよくしたいという熱意あふれるものでした。ぜひとも、この熱意を形にして、最後には「やりとげた」という手応えや達成感を感じてほしいと思いますし、「こんな取組をしたら、学校生活がもっとよくなる」というアイデアをたくさん出して、日常的な活動の充実を図ってほしいと思います。

さて、9月9日には、前期生徒会役員を中心に、笑顔と感動のある、大変素晴らしい「合唱祭」を創り上げることができました。前期役員の皆さん、合唱係の指揮者・伴奏者、各パートリーダー、それから、各学級スローガンの選定や発表、デザインに関わった皆さん、本当にお疲れ様でした。今年度も新型コロナウイルスの影響で、学校祭を「合唱祭」としましたが、各学級の合唱には、これまでの学校生活で培ってきた絆の強さや一体感が見事に表現されていました。

やはり、とりわけ3年生の合唱は、本当に感動しました。合唱って素晴らしいなあと改めて思いました。指揮者と伴奏者、男声パート、女声パートが一体となり、素晴らしいハーモニーを聞かせてくれました。互いの声が安心感、連帯感を、そして、絆を深めていく、そんな瞬間を感じました。先輩の合唱を聴いて、「あんな3年生になりたい!」と思った、1・2年生も少なくないはずです。

今後も3年生には、東中の学校生活をリードしてほしいと思いますし、1・2年生には、3年生の姿から東中の伝統をしっかりと受け継ぎ、発展させていってほしいと思います。後期も引き続き、全校一丸となって、学校生活の充実・向上を目指しましょう!

1年生が遠足に行ってきました!

9月14日に、1年生が遠足に行ってきました。サイパルでは、プラネタリウムの鑑賞や常設展示見学で科学について学びました。昼食をはさんで、午後からは神楽岡公園に移動し、係の企画したレクで大いに盛り上がりました。

コロナ禍において、集団での行動が制限される中でしたが、楽しみながら、学級・学年の絆が深められた行事となりました。



令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

神居東中3年生, 国語・数学・理科全て全国平均を上回る!



4月19日に実施した「令和4年度 全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、本校に送られてきました。3年生の個人票につきましては、すでに生徒にお渡ししました。神居東中学校全体の正答率は、国語・数学・理科全てで全国平均を上回る結果となりました。

調査結果から、生徒の学力や学習状況、課題等を把握することができました。詳細は別紙をご参照ください。この結果を受け、各教科においては、今後も学習指導の改善・充実に取り組んでいきます。

なお、同日に行われた生徒質問紙から明らかになった課題につきましても、お子さんと学校生活や家庭での生活の話題にしていいただければ幸いです。

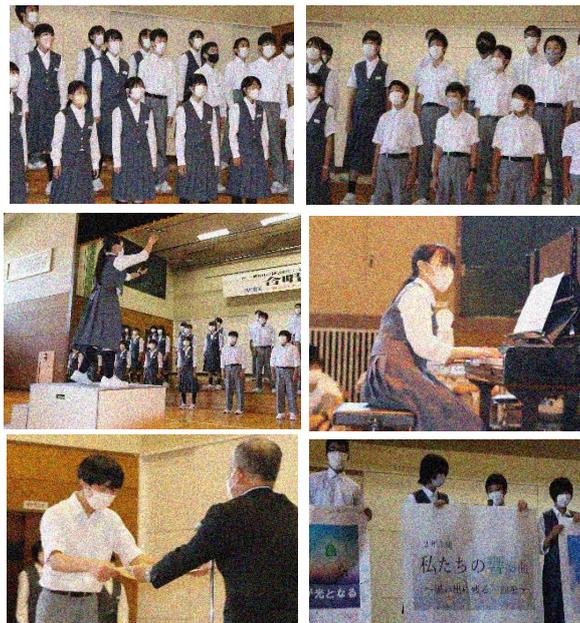
※分析結果は別紙に載せております。

「楽咲～がっしょう～ 響かせよう心と歌声を」 合唱祭開催!!

9月9日に「合唱祭」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催の可否が心配されましたが、無事に実施できたこと、そして保護者の皆様にも御鑑賞いただけたことを大変うれしく思います。

合唱祭の取組は約2週間と短い期間ではありましたが、どの学級も真剣に意欲的に練習に励みました。当日はマスクを着用したままでの合唱でしたが、どのクラスもコロナに負けない歌声を響かせました。最優秀賞は3年2組の「プレゼント」でしたが、3年1組の「青い鳥」も大変素晴らしく、審査結果は僅かな差でした。1・2年生の合唱も美しく迫力のあふれる歌声でした。

3年生の頑張りは後輩たちの良き見本となります。自分たちも「こうなりたい」という具体的な目標ができたのではないかと思います。先輩が立派な姿を示し、後輩がその姿を見て、それに近づこう、超えようとする。神居東中の良き伝統はしっかりと継承されていきました。



後期生徒会役員選挙立会演説会

9月26日(月)に後期生徒会本部役員選挙の立会演説会を実施しました。立候補者と責任者は、堂々と立派な演説を行いました。定数7名に対し、立候補者が7名でしたので、信任投票となり、投票の結果、全員が当選を果たしました。新しいリーダーとして活躍を期待しています。

氏名の公表は控えさせていただきます。

10月の主な行事

- 4日(火) 小中音楽発表会
- 5日(水) 職員会議 (部活動中止)
- 6日(木) 生徒総会・認証式
- 7日(金) 二計測・英検
- 10日(月) スポーツの日
- 11日(火) 旭川市教育研究大会 (臨休)
- 13日(木) 3年生学力テスト
- 16日(日) 全道駅伝 (新得町)
- 17日(月) 教育相談 (担任と生徒)
(17日~25日)
- 25日(火) 給食費等振替
- 27日(木) 3年生定期テストⅡ 1日目
- 28日(金) 3年生定期テストⅡ 2日目
- 31日(月) 常任委員会

令和4年度 全国学力・学習状況調査 (国語編)

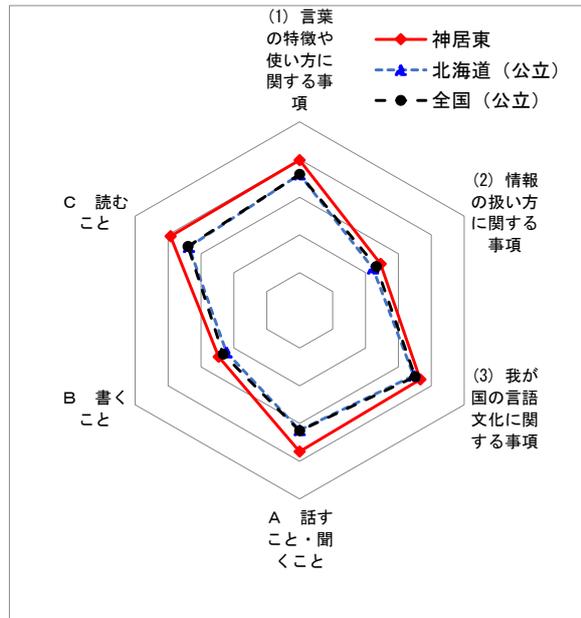
問題1 全分野の平均正答率をグラフ化したものです。

検証
分析

知識・技能 (言葉の特徴や使い方に関する事項) 思考力・判断力・表現力等 (話す・聞くこと) 正答率			
設問	一	二	三
全国	74.7%	65.1%	51.8%
全国との差	↑	↑	↑

↑は正答率が全国を上回っていることを表しています。

問題1はスピーチの工夫の仕方に関する問題でした。設問一は表現の工夫に関する問題。設問二では、話し手の考えと自分の考えを**比較することができるか**を問う問題。三では、どのような話し方にするのか、**話す意図を記入**しなくてはならない問題でした。正答率は非常に高いのですが、さらに上を目指すためには、文章の内容を確実に読み取り、**設問に合った条件で解答を書く力が必要**があります。



問題2

知識・技能 (言葉の特徴や使い方・情報の扱い方に関する事項) 思考力・判断力・表現力等 (書くこと) 正答率				
設問	一	二①	二②	三
全国	82.3%	82.1%	80.5%	46.5%
全国との差	↑	↑	↑	↑

問題2は言葉の特徴や使い方に関する問題でした。設問一は助詞の使い方。設問二は漢字に関する問題でした。設問三は他の設問に比べ正答率が非常に低かったです。**資料から引用した部分を(「」)でくくることや「例えば」に適切に続けて解答を書く**など、ここでも**条件に合った書き方で解答を導く**ことができませんでした。

問題3

知識・技能 (言葉の特徴や使い方に関する事項) 思考力・判断力・表現力等 (読むこと) 正答率				
設問	一	二	三	四
全国	52.5%	84.0%	62.0%	73.8%
全国との差	↑	↓	↑	↑

↓は正答率が全国を下回っていることを表しています。

表現技法や心情を表す語句、心情の変化の読み取り、内容の解釈をねらう設問でした。設問三と四は全国平均からも高い正答率となっており、**文章の内容を読み取る力は高い**です。しかし、設問二は全国平均を下回っています。問題は、「**途方に暮れた**」の意味を選択する問題であり、心情を表す語句について理解する必要がありました。**基本的な言葉の意味などの知識**についても、思考力等を高めることと平行してバランスよく身に付けていく必要があります。

問題4

知識・技能 (我が国の言語文化に関する事項) 正答率			
設問	一	二	三
全国	39.4%	90.1%	81.1%
全国との差	↓	↑	↑

問題4は「行書」の特徴に関する問題でした。設問一は正答率が非常に低く、反対に二と三の正答率は非常に高かったです。一については、漢字を行書で書く時の**特徴**(点や画の形が丸みを帯びることや点や画の方向及び止め・はね・払いの形が変わる)がしっかりと定着していませんでした。今後は特徴的な知識・技能は確実に押さえていきたいと思います。

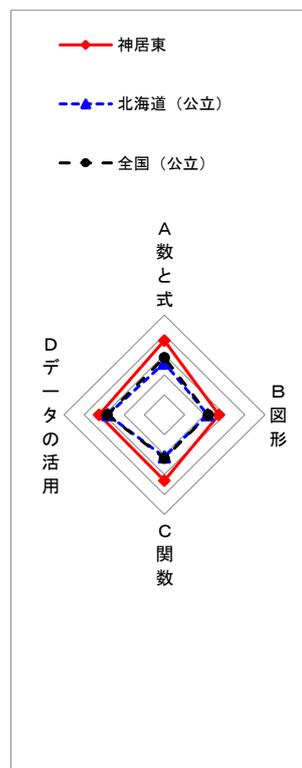
今後身に付けたい力

今回の学力テストでは、ほとんどの設問で全国平均正答率を上回りました。しかし、**文章に書かれている内容を読み取る力は高い**のですが、読み取った内容を**設問の条件に合わせて書くことが苦手**であると分かりました。いくつかの条件を提示し、それに合った解答を書いたり、字数制限のある問題に挑戦したりすることで設問に沿って解答できる力を付けさせていきます。また、言葉の意味など基本的な知識についても平行して身に付けていけるようにしていきます。

令和4年度 全国学力・学習状況調査〔数学編〕

全分野の平均正答率をグラフ化したものです→

番号	観点	領域	出題の趣旨	全国正答率	全国との差
1	知	数式	自然数を素数の積で表す技能	65.6%	↑
2	知	数式	連立二元一次方程式を解く技能	89.1%	↑
3	知	図形	反例の意味理解	50.0%	↑
4	知	関数	変化の割合の意味理解	57.8%	↑
5	知	データ	高い数の思考によって得られる確率の理解	95.3%	↑
6-1	知	数式	問題場面における考察の対象を捉える	89.1%	↑
6-2	思		目的に応じた式変形と成り立つ理由の説明	70.3%	↑
6-3	思		結論が成り立つための前提の考察と説明	57.8%	↑
7-1	思	データ	データの傾向を捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明	42.2%	↓
7-2	知		箱ひげ図から分布の特徴を捉える	57.8%	↑
8-1	知	関数	表やグラフから必要な情報を読みとる	71.9%	↑
8-2	思		事象の数学的解釈と解決方法の数学的説明	68.8%	↑
9-1	知	図形	三角形の合同条件の理解	89.1%	↑
9-2	思		筋道を立てて考え事柄が成り立つ理由の説明	23.4%	↑



↑は正答率が全国を上回っていることを表しています。

検証分析

小学6年時の全国学力学習状況調査では全国平均くらいでしたが、今回の調査では、ほぼ全ての設問で平均を上回っています。小学校でしっかりと土台を築き、中学校で更に学力を伸ばしている結果といえます。「学力」向上の要因としては以下の2点が挙げられます。

①「意欲的に学習に取り組む風土作り」「家庭学習の効果的な推進」

「分かるまで理解しよう」、「分かるまで理解してもらおう」と生徒と先生方が一体となり「主体的に学習活動に臨む雰囲気があります。」T・Tの効果的な活用も意欲的に学習に取り組む風土作りに大いに役立っています。また、学年として組織的・計画的に家庭学習の取組が行われていることも、良い結果につながっていると考えられます。

②「ICTの活用」

日々の授業では、「ICTを効果的に活用できる場面はどこか」という視点で準備が進められ、ICTを日常的に活用することで、生徒の学力向上につながりました。今後も積極的に活用していきたいと思います。

今後身に付けたい力

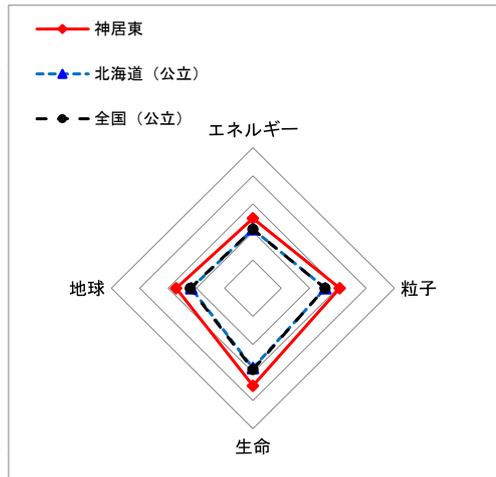
調査の結果から、他者に意図や考えを分かりやすく伝える力を一層高めるために、「答えの根拠〇〇」と「成り立つ事柄△△」を明確にし、「〇〇であるから、△△である」ような形で表現する力を伸ばす必要があります。引き続き、総合的な学習の時間など他教科との連携を図りながら、生徒の発表や説明の機会を確保して身に付けるべき力の向上を図っていきます。

令和4年度 全国学力・学習状況調査（理科編）

全分野の平均正答率をグラフ化したものです→

分類	区分	全国正答率	全国との差
学習指導要領の分野	「エネルギー」を柱とする領域	41.9%	↑
	「粒子」を柱とする領域	50.9%	↑
	「生命」を柱とする領域	57.9%	↑
	「地球」を柱とする領域	44.3%	↑
問題の形式	選択式	49.6%	↑
	短答式	24.8%	↓
	記述式	53.5%	↑

↑は正答率が全国平均を上回っていることを表しています。



検証分析

どの分野も全国平均正答率を上回る事ができました。特に「観察、実験などを行い、科学的に探求する力」を見取る記述式の問題で高い正答率でした。

授業において、単元の内容に応じて「思考・判断する場面」が多く設けられ、授業が展開されている成果と考えられます。

思考力・判断力・表現力の高まりが見られた設問

- 4 (1) 共通性・多様性の視点から動物の体のつくりとはたらきに関し、見方・考え方を働かせて理由を書く問題。
- 8 (1) アリの行列の作り方を探究する場面において実験結果から考察を行い解答する問題。
- 8 (2) 予想や仮説と異なる結果が出た場面について、結果の意味を考える問題。

課題が見られた設問

- 2 (3) 考察を行った他者の考えについて、総合的に検討して改善できるかどうかを判断する問題。
- 3 (3) 化学領域において、知識・技能を活用し、分析して内容を解釈する問題。
- 5 (1) つり合う力からの矢印を選択し、その力について説明する問題。

今後身に付けたい力

今後も、生徒の思考に沿った課題解決の過程を大切にしながら授業を進めていきます。その際に、授業の展開が「課題の把握」「課題の探求」「課題の解決」を教師から生徒への一方的な指導だけに流れることなく、振り返る場面をより多く設定することで、これまで以上に主体的・対話的に学習する力が付くような授業を展開していきます。

令和4年度 全国学力・学習状況調査〔生徒質問紙編〕

本校の注目すべき事項（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選択した割合）※一部を除く

番号	観点	質問事項	全国回答率	全国との差
1	生活習慣	朝食を毎日食べている。	91.9%	↑
3		毎日、同じくらいの時間に起きている。	79.9%	↑
4		携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	69.5%	↑
7	自己肯定感	自分には良いところがあると思う。	78.5%	↑
8		先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。	88.6%	↑
16	安心安全	学校に行くのは楽しいと思う。	82.9%	↑
26		読書は好きですか。	68.2%	↑
43		話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。	78.7%	↑
46		学校生活をより良くするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。	76.8%	↑
21	社会で生きる力	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 ※1日1時間以上の割合	69.5%	↑
32		1、2年生の時に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。 ※「ほぼ毎日」「週3回以上」の割合	50.9%	↑
36		学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	92.6%	↑

↑は全国平均を上回っています。

検証分析

どの質問項目も、全国回答率よりも良い結果となっています。

生活習慣に関しては、安定した生活を送っている生徒が多く、特に、各家庭で携帯電話の使用に関するルールがある生徒が全国回答率を上回っています。また、自分で考えて携帯電話を使用できる生徒が多いことが分かりました。

自己肯定感についても、全国と比べて高い水準となっており、先生方との良好な関係を築いていることがうかがえます。

安心安全については、特に話し合い活動において、自分の意見を安心して述べるができる雰囲気や学年としてできています。今後も、生徒からの意見に耳を傾けるとともに、授業中の発言が間違った内容だったとしても、発表することに意義があるというスタンスで授業を展開していきます。

また、ICTの活用についても効果的な活用を更に進め、生徒自身がICTを活用することで学力向上につながるような準備や工夫をしていきたいと思えます。

課題（今後の改善が期待される事項）

番号	質問事項	全国回答率	全国との差
14	困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 ※「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した割合	33.4%	↑
13	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 ※「どちらかと言えば当てはまらない」と回答した割合	3.6%	↑
40	授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。 ※「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した割合	32.5%	↑

上記は、全国の実績よりも良い結果が出てはいますが、本校として、今後改善したい項目です。

番号14の質問事項については、生徒と先生方の信頼関係は高いものの、困り事や不安な気持ちを抱え、それを伝えられないでいる生徒がいることが分かりました。今後も生徒の様子や状況を細やかに見守るとともに、生徒1人ひとりに寄り添った対応をしていきます。また、保護者の方との連携も更に密にしていきたいと思えます。

番号13の質問事項については、「どんな理由があっても、いじめは許されるものではない。ダメなものはダメ」ということを、道徳科や普段の学校生活など、様々な場面で積極的に伝え、確認していくことで、生徒全員が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と胸を張って言える学校にしていきたいです。

番号40の質問事項については、各教科で学んだことを、まとめる活動においてどう生かしていけば良いのかが分からない生徒が多いことが分かりました。各教科で学んだことが、今学んでいることと、どのようなつながりがあるのかが分かるよう、各教科の先生方で連携し合いながら、どう生かしていったら良いか、考える場面を設定していきたいと思えます。そうすることで、学んだことを生かしながら根拠を明確にした上で自分の考えをまとめ、説明することが自信をもってできるようになるようにしていきたいと思えます。